

第7回天気予報研究会の開催のお知らせ

第7回天気予報研究会を下記要領で開催します。入場は無料です。なお、講演要旨については気象学会の天気予報研究連絡会のホームページに掲載しています。

日 時：2010年2月5日（金）13時30分～17時30分

場 所：気象庁講堂（気象庁2階）

発表題目（発表順）：

特別講演 雲解像モデルを用いた High-impact weather systems の量的予測

—特に台風とそれに伴う豪雨について—

坪木和久(名古屋大学地球水循環研究センター)

1. レーダー反射波の位相情報による屈折指数分布推定

瀬古 弘・山内 洋・鈴木 修・斉藤和雄（気象研究所）

2. 気象庁メソ解析を用いた伊勢湾台風と高潮の再予報

川畑拓矢・國井 勝・高野洋雄・別所康太郎・釜堀弘隆・中澤哲夫（気象研究所）

本田有機・澤田 謙（気象庁予報部数値予報課）

3. 雷ナウキャストの解析・予測手法

笠原真吾（気象庁予報部予報課）

4. メソ数値予報モデルの降水予報精度

幾田泰醇（気象庁予報部数値予報課）

5. 気象庁における降水量ガイダンスについて

蟻坂隼史（気象庁予報部数値予報課）

主 催：日本気象学会天気予報研究連絡会

問い合わせ先：古川武彦「気象コンパス」

(takefuru@eos.ocn.ne.jp)